

神戸新交通ポートアイランド線

中公園駅—みなとじま駅—市民広場駅—中埠頭駅—中公園駅

こちらにも新交通システムにある環状の路線。日本で初めての新交通システムとして三宮駅～南公園駅～中公園駅が開業したのは1981（昭和56）年2月5日のことで、案内軌条を使用して自動運転される中量輸送を本分とする新しい交通機関の誕生は大いに注目され、運転開始直後こそ遅延が発生することもありはしたが、システムそのものが見直されることはなく今日に至っている。路線は当初から中公園駅以南が環状で建設されており、三宮を出発した列車は、中公園駅以南を反時計回りで1周して三宮駅に戻るといった運転形態が採られた。開業時にはまだ新交通システムが珍しい存在であったことから、途中で下車す



三ノ宮駅から六甲山を背にして南下、市民広場にてループ線は分岐（撮影：本村忠之）

ることなく三宮駅に戻ってくる体験乗車的な乗車をする乗客もいたという。ポートアイランド線は、2006（平成18）年2月2日に市民広場駅～神戸空港駅間が延伸開業し、これで神戸新交通の運転は三宮駅と神戸空港駅の間を往復する系統と合わせて2系統となり、中公園駅～市民広場駅間は複線となった。三宮駅を出発した列車が人工島ポートアイランド内を1周して戻ってくる運転方式も、開業以来変わることなく続けられており、鉄道の環状運転の利便性の高さが立証された形となっている。

